

環境問題への取り組み

● 環境問題への取り組み

1991年 洗浄剤として使用される特定フロンやエタンの使用全廃に向けてフロン対策委員会を組織。

1993年 特定フロンやエタンを一切使わない、脱酸素純水洗浄装置を開発し、ベアリング・メーカーとして世界で初めて全製造・組立工程において洗浄剤としての特定フロン及びエタンの使用を全廃。

ミネベア本社及びタイの子会社が、特定フロン及びエタンの使用を全廃し、ミネベア独自に開発した洗浄装置と大規模な廃水処理施設を公開する等、環境保護の促進に尽力した点が評価されて、米国環境保護庁(EPA)より「オゾン層保護賞」を受賞。

フロン対策委員会を発展的に組織変更し、環境対策委員会をスタート。

「ミネベア環境憲章」を作成。

1995年 当時の代表取締役社長の荻野五郎が米国環境保護庁より「オゾン層保護賞」の個人賞を受賞。

1996年 中国子会社Minebea Electronics & Hi-Tech Components (Shanghai) Ltd.が、同社工場が立地する淀山湖及びその湖畔の環境保護を目的として「上海美蓓亞淀山湖環境保護基金」を設立。

1997年 4月、ミネベアのマザー工場である軽井沢製作所と英国子会社Rose Bearings Ltd.のリンカーン工場がベアリング・メーカーとして世界で初めて環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」の認証を取得。その後、最大の製造拠点であるタイの全7社4工場、及び中国の2工場も同認証を一括取得。

ミネベア・グループが米国環境保護庁より「ベスト・オブ・ザ・ベストオゾン層保護賞」を受賞。

1998年 1月、シンガポール工場が「ISO14001」の認証を取得。その後、国内の子会社3社5工場、及びドイツの子会社1社が取得。

1999年 国内の1工場、英国子会社の2工場、米国の1工場が「ISO14001」の認証を取得。

2000年 英国子会社の1工場が「ISO14001」の認証を取得。

自社調査により、国内子会社のミネベア音響一関工場でトリクロロエチレン、トリクロロエタンによる土壌・地下水汚染の事実が確認され、浄化作業を実施。

(2001年6月28日現在)

● 環境活動トピックス

中国の製造子会社、上海美蓓亞精密机电有限公司は、ミネベアが2001年7月16日に創業50周年を迎えるのを機に、2001年5月23日に「上海美蓓亞淀山湖環境保護基金」を現在の750万人民币から1,100万人民币に増額致しました。

同基金は、上海美蓓亞が所在する青浦区淀山湖地区、特に西岑鎮の水質保全を主目的とする環境保護活動のための基金として1996年4月に設立されたものです。上海美蓓亞の出資による金利を活動資金に当てており、現在までに以下のように有効に活用されております。



上海美蓓亞精密机电有限公司
上海工場



2001年5月23日に開催された環境保護基金増額セレモニーにおける当社社長 山本の挨拶

1. 西岑鎮の簡易水洗トイレ4,000台設置の補助
2. 上海工場及び西岑工場周辺の緑地の整備
3. 淀山湖及び国道318号線の清掃の補助
4. 上海苗木センターへの苗木の寄贈



上海苗木センターへの苗木の寄贈